

この春に完成!

明日へと響け 復興のつち音

このコーナーでは、石巻の復興や復旧の様子を紹介します

須江産業用地

沿岸部の被災企業等の移転先として整備が進められていた「須江産業用地」が完成しました。

総面積は約21万1,000平方メートル、28の事業者が進出予定です。



▼3月1日(火)には、引き渡し第1号となるマルハニチロ(株)新石巻工場の建設工事安全祈願祭が行われました。



▲完成報告会の様子



▲収納型ベンチには、災害時備蓄品が収納されています。



▲簡易トイレ



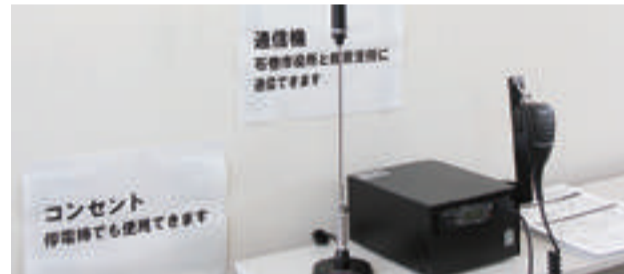
▲屋上の太陽光パネルと居室内に設置された蓄電装置により、災害時には簡易電源を3日間確保できます。

西浜町津波避難タワー (西浜町1-2)



工業港西側の工業地域で働く皆さんの安全を確保するために整備が進められていた「西浜町津波避難タワー」が完成し、3月29日(火)に完成報告会が行われました。

津波避難タワーの完成は、大宮町、魚町一丁目、魚町三丁目に続き、市内で4基目となります。



▲非常時には、デジタル簡易無線機で市役所や蛇田支所に通信できます。

スマートコミュニティ推進事業記念式典

「地域エネルギー管理システム」の本格運用開始を記念して、3月24日(木)に記念式典が行われました。

式典は、新蛇田地区に東北電力(株)による「石巻蛇田太陽光発電所」の整備が完成し、また、(株)東芝による新蛇田地区復興住宅535戸への「エネルギー管理システム」の導入が終了したことにより、「地域エネルギー管理システム」の本格運用が開始されたことを記念して行われました。



▲石巻蛇田太陽光発電所には、約5,700平方メートルの敷地に、約1,200枚の太陽光パネルが設置されました。



「地域エネルギー管理システム」は、石巻市、東北電力(株)、(株)東芝が共同で取り組む「スマートコミュニティ推進事業」の一環で、市内の公共施設や防災拠点に設けられた太陽光発電設備の発電量や消費電力、蓄電量等の情報を一元管理することが可能となるシステムです。